

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	3115 教育と社会			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	火曜4限				
教室	D109教室				
代表教員	富樫 千紘				
担当教員	富樫 千紘				
テーマと到達目標	本講義のテーマは「居場所としての学校」「人間的自立を支える教育」という視点から今日の教育状況を考察することである。そのため、日本における教育・子育てに関する状況を通して教育における「当事者性」の意義を学び、教育が社会においてどのような役割を担っているのか、あるいは担う必要があるのか、考えられるようにすることを到達目標とする。				
概要	「居場所としての学校」「人間的自立を支える教育」という視点から、現在の日本の教育・子育てを取り巻く様々なトピックについて検討していく。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員 (複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	オリエンテーション：教育・社会における「当事者性」の検討				対面授業
第2回	教育における「当事者性」：関係的子どもの権利論と学校教育の課題				対面授業
第3回	学校生活の「主体」としての子ども①				対面授業
第4回	学校生活の「主体」としての子ども②				対面授業
第5回	学校における子どもの自己表現の学習機会①				対面授業
第6回	学校における子どもの自己表現の学習機会②				対面授業
第7回	講義中間まとめ				対面授業
第8回	学校が子どもの生活に及ぼす影響①				対面授業
第9回	学校が子どもの生活に及ぼす影響②				対面授業
第10回	いじめ・不登校から考える子どもの学校生活における「当事者性」①				対面授業
第11回	いじめ・不登校から考える子どもの学校生活における「当事者性」②				対面授業
第12回	教育の社会的役割①				対面授業
第13回	教育の社会的役割②				対面授業
第14回	教育の社会的役割③				対面授業
第15回	講義のまとめ				対面授業
成績評価の基準	毎回の講義課題 (30%)、小レポート (30%)、最終レポート (40%) により評価を行う。				
履修にあたっての留意事項	教育問題や教育政策をもとに検討を行うため、状況に応じてトピックは追加・変更になることがある。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	特に用いない。	教科書(ISBN)	
参考文献	丸山啓史『宿題からの解放』かもがわ出版、2023年 浅井春夫他『「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」活用ガイド』明石書店、2023年 世取山洋介『子どもの権利：国連審査と子どもの権利論の深化 世取山洋介著作集1』旬報社、2024年	参考文献(ISBN)	